

11月8日

## 千葉県八千代高校来校（演劇鑑賞）

本日午後、千葉県立八千代高等学校の2年生約320名が本校を訪れ、本校演劇部による演劇と、「森の会」（本校の伊藤元校長が主宰）による朗読劇を鑑賞しました。

現在、本校の総合展示ホールに展示している「乙女たちの碑」という14万本の爪楊枝で作られたモニュメントは、数年前に、当時の八千代高校の生徒が市女の被爆の状況と市女慰霊碑のことを知り、平和への思いを強く抱いて制作されたもので、昨年、縁あって本校に寄贈していただきました。その八千代高校がこの度、修学旅行で広島を訪れることになり、戦争・原爆をテーマにした舟入高校の演劇と朗読劇を鑑賞するために、本日、広島に到着後、最初の訪問地として本校を訪れました。

日程の関係で限られた時間の演劇・朗読劇鑑賞ではありましたが、熱心に鑑賞していただき、上演を終えた後には割れんばかりの拍手をいただきました。八千代高校の生徒のみなさんがより一層、ヒロシマの願い、平和への思いを強く抱いていただけたならば幸いです。

アトリウムに展示されたモニュメント



本校演劇部による演劇上演



「森の会」による朗読劇上演



伊藤元校長のあいさつ



本校演劇部あいさつ



八千代高校生徒代表あいさつ



次の訪問地の平和公園に向かう八千代高校の生徒のみなさん

